

新日本海フェリー株式会社
けやき

船員保険制度や定年に関心

「けやき」の乗船訪船では、組合本部から田中伸一組合長代行と平岡英彦国内局長、新日本海フェリー株式会社を担当する大阪支部の小林泰之大阪支部長、そして森健輔新日本海フェリー職場委員の 4 人が、船橋や機関室を見学した後、甲板部集会と機関部集会を開き、今次春闘の妥結報告や組合活動の近況を報告し、現場組合員の皆さんと忌憚のない意見交換を行った。

組合員皆さんからは、春闘関連のほか、船員保険に関連することや、定年に関する意見が述べられ、それぞれ田中組合長代行と平岡国内局長から組合の取り組みや概要について説明し、理解を深めた。

今回、事務部は業務多忙で集会形式の意見交換はできず、個別対応となった。

スクラバー（排ガス洗浄装置）

国際海事機関（IMO）による燃料油の硫黄分規制は、2020 年から厳しくなっているが、スクラバーを装備している船舶は価格の高い低硫黄燃料を使わずとも、IMO の規制を満たした上で運行できる。世界的に環境保護規制の厳格化が進む中、排ガス洗浄装置の「スクラバー」は、工業的な排出元からのばいじん粒子や有害ガスを吸着、水洗、薬液中和処理して大気に放出する役割を果たす。

船旅を楽しめる内容

航海速力が 28・3 ノットの「けやき」は国内のフェリーでは最速クラス。波を切る性能を高めた垂直船首に、船尾がアヒルの尻尾のように突き出した形状のダックテールなど、最新鋭の省エネ船型を採用し、舞鶴港から小樽港へ向かう北行きは約 21 時間、小樽港から舞鶴港へ向かう南行きは約 21 時間 45 分の航海時間を実現している。

従来のフェリーに比べて、旅客定員を大幅に減らし、旅客や貨物の大量輸送から、船旅でのプライベートを重視した客室へと変化することで、客室のプライベート空間や豪華な内装が確保されている。また、航海中の大海原を満喫できる展望大浴場や露天風呂、ホテルクオリティーの料理を楽しめるレストラン、スクリーンルーム、進行方向の海原を展望できる「フォワードサロン」など、船旅を退屈させない工夫と配慮がされている。

「海員日より」